

みどりみらい 2nd SEASON ぐんじとしのりの議会報告

2003/06/20 Vol. 4 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 15 年第 2 回定例会報告 (1)

いつもお世話になっております。印西市議会 (6 月定例会) が、現在行われております。今回は、6 月議会での私からの代表質問、市執行部からの回答をご報告していきたいと思
います。

6/11 (水曜日) に、代表質問に立ちました。以下、市当局の回答です。

1 . 千葉ニュータウン事業と印西市の将来について

(4) 千葉ニュータウンステップアップ 2010 研究会の進捗はどのようになっているのか？

- 4-1 千葉ニュータウンステップアップ 2010 実行計画研究会素案は公開されるものではないか。
- 4-2 ワークショップにおいての具体的な推進すべきプロジェクトの抽出はすすんでいるのか。

(回答 / 市長)

千葉ニュータウンステップアップ 2010 研究会につきましては、成田新高速鉄道の 2010 年の開業及び北千葉道路の具体化により、現在、大型商業施設が立地されている千葉ニュータウンのポテンシャルを飛躍的に高めるために、民間活力を取り入れながら国際性、機能性豊かなまちづくりと千葉ニュータウンの活性化の方策を研究する目的で昨年に設置されたものです。研究会の実施年度としては、平成 14 年度と 15 年度で、本年度末には「千葉ニュータウンステップアップ 2010 実行計画」が示される予定となっております。現在までの進捗状況といたしましては、昨年 12 月 3 日に第 1 回目の研究会が開催され、以後、3 月 3 日に第 2 回目、6 月 6 日に第 3 回目が開催されております。内容的には、事前に商業、産業などの 5 つのプロジェクトが検討した事項に基づきまして、それぞれの委員が自由な意見を述べ、その意見について事務局がまとめるといった手法で行われております。

の「千葉ニュータウンステップアップ 2010 実行計画研究会素案」は公開されるものではないかにつきましては、実行計画を策定する段階で、計画案を示し、広く市民の意見を聞く場でありますシンポジウムを 12 月に開催する予定となっております。その際には、多くの市民の方々のご参加がいただければと考えております。

の「ワークショップ」についてですが、市といたしましては、当初市の職員も参画できる「まちづくりを中心としたワークショップ」の方式をするのではないかと模索しておったところですが、民間活力を図り、具体的な内容を提言するという一方で、商業系、住宅系、産業系などの民間業者による 5 つのプロジェクトが立ち上げられ、委員会に提案するそれぞれの分野について調査研究をしているところでございます。

< ぐんじとしのり より >

千葉ニュータウンステップアップ 2010 研究会は、9 人の委員で構成されています。

(大学教授 5 人や研究所副所長等で構成され、「市民」は構成員になっていません。(「市長」は「行政分野の研究者」として参加)) 私は、今回の質問を通して、「市民が求めないまちづくりがすすむのではないか？」危惧していることを伝え、年末に予定している市民

参加のシンポジウムの時だけ市民の声を聞こうとするのではなく、素案の段階より市民参加を

検討し、実行計画に反映させるように要望しました。

(* 千葉ニュータウンステップアップ 2010 研究会の議事要旨は「千葉県企業庁」のホームページより「千葉ニュータウン」をお選びいただくと、ご覧になれます。)

<http://www.chiba-nt2010.com/>

(5) 都市基盤整備公団が事業整理を求められている中で、都市基盤整備公団鉄道の売却先を求めている旨の報道が 3 月にあった。この問題に関して、その後、印西市ではどのように情報収集を行ったのか。また、市民にこの情報をどのように公開して行くのか。

(回答 / 市長)

「都市基盤整備公団鉄道」について、お答えいたします。市といたしましても、ご質問の「都市基盤整備公団鉄道」の報道があった後、早速、県及び都市基盤整備公団に確認したところ、県(交通計画課)では、「国土交通省や都市基盤整備公団とともにこの鉄道の経営問題について話し合っているところなので、現在はコメントする段階ではない」とのことでございました。

また、都市基盤整備公団(交通部)では、「独立行政法人への移行を控え、『特殊法人等整理合理化計画』における指摘を踏まえつつ、公団鉄道のあり方を検討しているところで、現在ではコメントする段階ではない」とのことでございました。いずれにいたしましても、北総公団線は北総開発鉄道のみならず、市民の足として、また成田新高速鉄道の一部として重要な鉄道であり、千葉ニュータウンの今後の一層の発展の為に、都市基盤整備鉄道の債務処理の問題は、大きな課題であると認識しております。今後の動向につきましても、引き続き情報収集を行い、情報の公開につきましても、適切な対応をして参りたいと考えております。

< ぐんじとしのり より >

「都市公団鉄道売却も」という記事が新聞誌上(東京新聞)に記載されたのは本年 2 月 3 日でした。(都市公団鉄道は、北総開発鉄道が運営する「北総・公団線」のうち、都市基盤整備公団が所有権を持つ、小室駅～印旛日本医大駅まで 12.5 KM を指します。)これは、国の特殊法人改革の一貫で都市基盤整備公団は独立行政法人化が決定化されていて、それに伴う事業整理の対象になっているものです。問題は、事業整理後の鉄道をどうするかですが、皆様ご存知の通り、北総公団線は「成田新高速鉄道」の経由路線として位置付けられており、2010 年開業にむけて動き出しております。(「成田新高速鉄道」は、現在「環境アセスメント」の最中です。)このため、経営の安定化は不可欠です。国土交通省などが示した整理案は、現状の債務 440 億円のうち、京成鉄道が子会社を設立し 190 億円を引き受け、残る債務(250 億円)は公団全体で処理するというものです。県には京成子会社に 40 億円程度の支援ができないか打診があったそうです。

今回の私からの代表質問はここに記載しました内容をもとに行ったものですが、明確な回答は残念ながら得られませんでした。しかし、再質問を通じ、市から市民への説明責任を果たすように伝えるときにも、「検討がすすんでいる」事実は確認しました。

また、運賃適正化問題についても、「千葉ニュータウン推進連絡協議会」を通じての運賃値下げにかかる陳情活動を実施していくと共に、併せて県内の総合交通行政を担当する「県交通計画課」に対しても、運賃問題の解決に向け指導力を発揮していただくように要望していく。。。とのことです。

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。次回も引き続き 6 月議会の報告を行ってまいります。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と考えていきたいと思
います。よろしくお願ひ申し上げます。
ぐんじとしのり